

DIAMOND[®]

取扱説明書

パワーカッター

D P C - 1 6 R

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| 油圧オイルの取り扱いについて・・・・・・・・ | 3 |
| 本製品使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| 作業前点検・・・・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| 点検・保守・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9 |
| 油圧オイルの補充方法・・・・・・・・ | 9 |
| カッターブロック(刃物)について・・・・・・・・ | 10 |

ご使用前に必ずお読みください

- このたびは株式会社 I K K パワーカッターをお買い上げいただき、ありがとうございました。
 - ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。
-

・警告 ・注意 の区分について

ご使用上の注意事項は「・警告」「・注意」に区分してあり、それぞれ次の意味を表します。

・警告 誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性のある場合

・注意 誤った使用方法をした場合、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある場合および、機械の破損・故障が発生する恐れのある場合

なお、「・注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

安全上のご注意 一般的共通事項

- ・火災・けがなどの事故を未然に防ぐために安全上のご注意は必ず守ってください。
- ・ご使用前に安全上のご注意をすべて良く読み、理解したうえで正しくご使用ください。
- ・お読みになった後はお使いになられる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

・ 警 告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ◆この製品は、本取扱説明書で説明されている以外の用途には絶対にお使いにならないでください。
- ◆使用者以外近づけないでください。
 - ・油圧工具の使用者を特定し、取扱指導を受けてからお使いください。
- ◆作業台・作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - ・散らかった場所は事故の原因となります。
- ◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。
 - ・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機(集塵装置)を併用してください。
- ◆安定した場所・安定した姿勢で使用してください。
 - ・無理な姿勢で作業せず、足元をしっかりとらせてバランスを保ってください。
- ◆きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服・ネックレスなどの装身具・ネクタイ・袖口の開いたもの、首に巻いたタオルや編手袋などは工具の回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ◆スパナやレンチなどは必ず取り外してください。
 - ・使用する前に、使用した工具類が取り外してあることを確認してください。

◆十分に注意して油断せずに作業を行ってください。

- ・安全に作業するために、無理な操作、能力以上の作業はしないでください。
- ・作業をする際は取扱方法、周りの状況などに常識を働かせ、十分に注意して作業を行ってください。
- ・高所での作業時には下に人がいないかもよく確かめてください。
- ・疲れている時、注意力が散漫な時は使用しないでください。
- ・刃物類や回転部分、切りくずに触れたり体の各部を近づけないで下さい。

◆損傷した部品がないかを使用前に点検してください。

- ・刃物および工具類は指定された純正部品を使用してください。また、刃物においては新品または新品同様に破損、欠陥のないものを使用してください。
- ・使用中に異常を感じたら直ちに使用をやめ、点検・修理を行ってください。

◆指定の純正部品をお使いください。

- ・当取扱説明書および弊社カタログなどに記載されている以外の付属品や消耗部品は事故やけがの原因になる恐れがありますので使用しないでください。

◆油圧工具の修理は専門店に依頼してください。

- ・修理の際は買い求めの販売店または株式会社 IKK にお申し付けください。
- ・ご自分で修理されますと、事故やけがの原因になります。

・ 注 意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆最大能力を超えた作業や急激な操作はしないでください。

- ・仕様欄にある本機の最大能力を確認してください。
- ・能力を超えた使用は油圧工具の故障を招くだけでなく、大変危険です。
- ・急激な作業は機械の損傷や事故につながります。

◆油圧工具は大切に取扱ってください。

- ・誤って落としたり、ぶついたりしますと外枠が変形したり、破損する場合があります。そのような時は必ず使用前に十分な点検を行ってください。

◆油圧工具は次のような場所に保管してください。

- ・お子様の手が届かないところ、または錠のかかる不安定でない所
- ・温度や湿度の急変しない所
- ・直射日光や雨の当たらない、湿気のない、乾いた所
- ・引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いていない所

・ 注 意

*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

油圧オイルの種類

株式会社IKKではモービル・ヌトーH46を純正品としております。

モービル・ヌトーH46は国際ISO補助粘度グレード46(VG46)に相当します。

純正オイルはお買い求めの販売店または株式会社IKKへご用命ください。

取扱方法

- ◆目にはいたり長時間皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。
 - ・保護メガネや保護手袋を使用するなど対策を行い、取り扱いを行ってください。
- ◆使用しない時は容器のふたを締め、子供の手の届かない所に保管してください。
- ◆容器は内部に残留物(液体または蒸気)が残っているのでご注意ください。
 - ・容器を熱・炎・スパークあるいはその他の発火源に近づけないでください。破裂することがあります。
 - ・容器を加圧したり、切断、溶接、ろうづけ、はんだづけ、穴あけまたは、研削しないでください。爆発を伴って残留物が発火することがあります。

応急処置

- ◆飲み込むと下痢、嘔吐しますので絶対に飲まないでください。
 - ・目に入った場合は、直ちに十分な水で洗浄し、医師の診断を受けてください。
 - ・皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。
 - ・飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けてください。

保管方法

- ◆ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓してください。
- ◆直射日光を避け、暗所に保管してください。

廃油の処置

- ◆処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。
- ◆海、河川、湖、その他川付近及び排水溝に廃棄しないでください。火災の危険があるだけでなく、環境汚染につながります。
- ◆ご不明な点がおありの場合は、購入された販売店におたずねください。

油 圧 オ イ ル の 特 徴

- ◆油圧オイルは高温になると粘度が落ち、低温になると粘度が高くなります。
 - ・夏場での使用や、連続切断によって工具本体の温度がおよそ60℃を超えると油圧オイルの粘度が低下し、切断力がダウンします。このような場合は一度作業を休んで本体を冷やし、再度使用してください。
 - ・冬場や寒冷地では粘度が過度に上がり動きが鈍くなる場合があります。
- ◆油圧オイルには火気を近付けないよう注意してください。
 - ・運転中、または機体の温かい時は、オイルプラグを外さない。
 - ・油圧オイルの補給は、本体が良く冷えてから行う。
 - ・油圧オイルの補給は、周囲に可燃物のない場所を選び、こぼさない。こぼれた時はよく拭き取る。
 - ・油圧オイルの補給時や運転中はたばこを吸わない。
 - ・作業する時は、油圧オイルを補給した場所を離れて行う。

本 製 品 の 使 用 上 の ご 注 意

先に油圧工具としての一般的注意事項を述べましたが、これからご使用いただくパワーカッターについてはさらに次に述べる注意事項を守ってください。

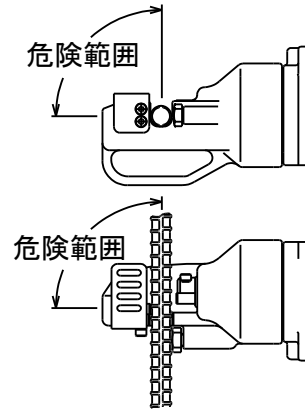
・ 警 告

*誤った使用方法をした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ◆正しい用途で安全作業をしてください。
 - ・本機は「コンクリート補強に使用する鉄筋の切断」を目的とした油圧工具です。この用途以外にはご使用できません。
- ◆最大能力を超えた作業はしないでください。
 - ・仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。
 - ・PC鋼線などの硬い材料は切断できません。
- ◆使用中は工具本体を確実に保持してください。
 - ・置いて使用する際は、水平で安定した場所でご使用ください。
- ◆使用中は刃物類や可動部分に触れたり手や顔などを近づけないでください。
- ◆保護メガネ・ヘルメット・ゴム底の安全靴をはいてください。
 - ・ほこりが多く出る場合は防塵マスクと集塵機(集塵装置)を併用してください。

◆使用上危険な範囲があります。

- ・材料をおよそ15cmより短く切断すると、切断片が右図の矢印の範囲に勢いよく飛ぶことがあります。
- ・PC鋼線や高強度鉄筋などの硬い材料は切断しないでください。



・ 注 意

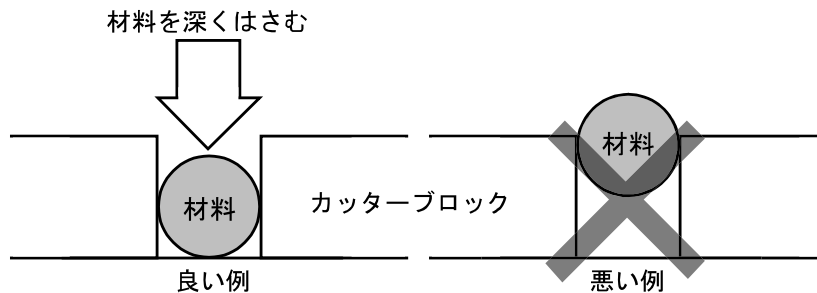
*誤った使用方法をした場合、人身事故や機械の破損・故障が発生する可能性があります。

◆刃物(カッターブロック)や付属品は正規の位置に確実に取りつけてください。

- ・指定された純正部品で新品または新品同様の破損・欠陥の無いものを、指定された方法でとりつけてください。

◆材料はカッターブロックの間に深くはさんでください。

- ・材料はカッターブロックの間に深くはさみ、切断してください。浅い位置や斜めの状態で切断しますと、カッターブロックや本体の損傷・事故につながります。



◆高所作業時は下に注意してください。

- ・高所での作業時は、下に人がいないことを良く確かめて作業してください。

◆異常が起きたらすぐ、運転を中止してください。

- ・機械の不調や異常に気がついた場合は、直ちに運転を止めてください。

◆鋭利な切断片や切りくずに注意してください。

- ・特に切りくずは鋭利で刺さりやすいため、革手袋を使用し、エアガンなどで吹くことはやめてください。

◆切断力が落ちたら、一度休んで本体を冷やしてください。

- ・本体の表面温度が60℃を超えると、油圧オイルの粘度が低下し、切断力が低下します。夏場や連続使用時は特に高温になりやすいのでご注意ください。

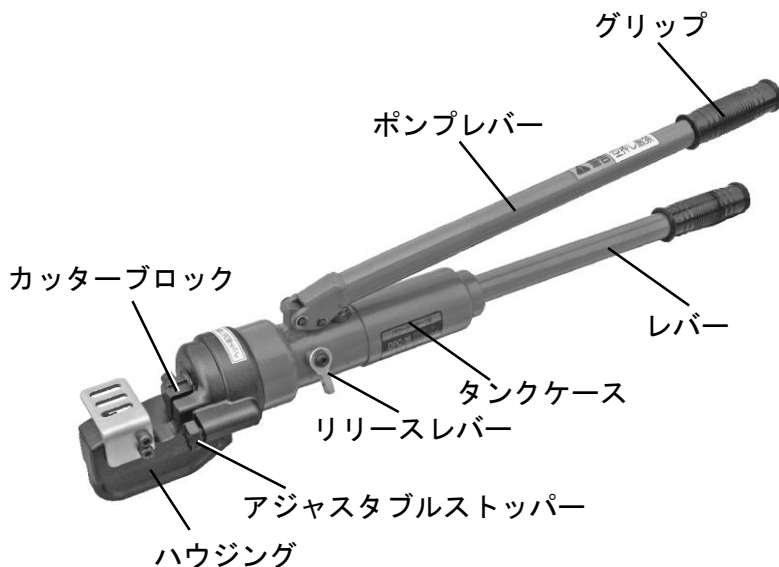
◆空押しはしないでください。

・材料を挟んでいない状態でのポンピング(空押し)はしないでください。

◆摩耗・破損・変形しているカッターブロック(刃物)は使用しないでください。

・摩耗や変形には常に注意し、異常があった場合は直ちに使用を止めて下さい。

各 部 の 名 称



用 途

コンクリート補強用に
使用する鉄筋の
切断作業。

仕 様

| 型 式 | DPC-16R | 標準付属品 |
|-----------------------------|------------------------|---------------------|
| 切 断 能 力 | SD345 D16以下 | 工具セット 六角棒レンチ 4mm |
| 切 断 最 小 径 | 4mm | |
| 電 源 ・ 電 流 | 不要 | |
| 切 断 往 復 回 数 (切断時ポンピング回数) | 約17回 | |
| 外 形 寸 法 | (L)585×(W)80×(H)150 mm | |
| 質 量 | 4.0kg | |

・ 注 意

・能力以上の材料の切断は、機械の故障の原因となりますので、材料の材質、および材料径を必ず確認してください。

作業前点検

1. 損傷した部品が無いかを点検してください。

リリースレバーやポンプレバーといった作動箇所やカッターブロック(刃物)、その他本体に損傷した部分が無いかを点検して下さい。カッターブロック(刃物)および工具類は指定された純正部品を使用して下さい。

また、刃物においては新品または新品同様に破損、欠陥のないものを使用して下さい。

2. カッターブロックや各部の取り付けボルトを確認してください。

カッターブロックを取り付けているセットボルト(六角穴付き)や、ハウジングの取り付けボルトがしっかりと締めつけられていることを、六角棒レンチで確認して下さい。

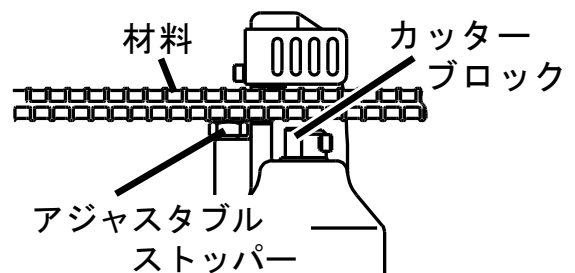
3. ポンプレバーの付け根に石や泥が挟まっていないか確認してください。

ご使用方法

片方の手でレバーを、ポンプレバーをもう片方の手で持ち、ポンピングして、切断を行います。

1. 本品を安定した姿勢にし、材料をカッターブロックの間に深くはさみます。

2. 材料がカッターブロックに対して直角になるように、切断する材料径に合わせてアジャスタブルストッパーを調整して下さい。



3. リリースレバーが閉まっていることを確認して下さい。

4. スタンド使用時はアジャスタブルストッパー側の材料をしっかり保持して下さい。この時、材料が斜めにならないように注意して下さい。

5. ポンプレバーを下げると、カッターブロックが少しずつ前進し、およそ17回のポンピング作業でカッターブロックが先端まで前進し、材料を切断します。材料が切断されたら、ポンピングは止めてください。空押しをしてしまいますと、機械の故障の原因となります。

・ 警 告

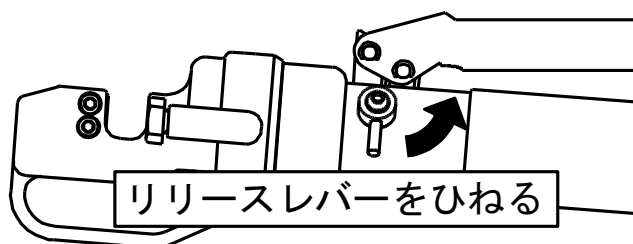
最大能力を超えた作業はしないでください。また、PC鋼線などの硬い材質は切断しないでください。

油圧の解除方法

切断後は油圧を解除し、カッターブロックを元の位置へ戻します。

リリースレバーの操作方法

図のようにリリースレバーをひねり、油圧を解除します。

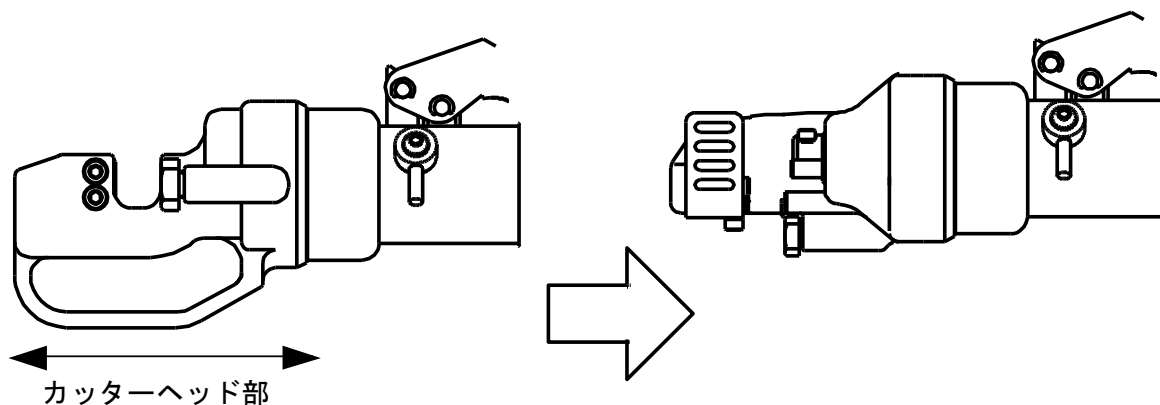


カッターヘッドの回転

DPC-16Rはカッターヘッドが360度回転式です。

先端部分を回転させる事が出来るので、使用する向きを選びません。

手に持って使用する際は、手で向きを変える事が出来ます。



点検・保守

・ 警告

点検・保守を行う際は、ポンプレバーが動かないよう注意してください。

1. 使用後の手入れ

使用後は、皮手袋をして、ピストンまわりの鉄粉、ゴミなどを清掃してください。この時、エアガンなどでゴミを吹きとばさないでください。鋭利な切断片などが飛散した場合、危険です。

2. 各部取り付けネジの点検

各部取り付けネジの緩んでいるところがないかを定期的に点検してください。もし、緩んでいるところがありましたら、締め直してください。緩んだままですと危険です。各ボルトの増し締めは300～500回切断ごとに行ってください。

3. 表面の汚れ清掃

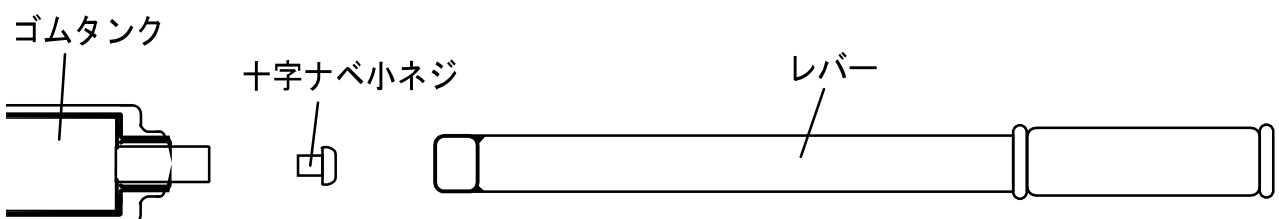
本機の外枠の塗装部分にガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を痛めます。清掃の場合は、乾いた布、もしくは石けん水を付けた布などで拭いてください。

・ 警告

ピストンまわりを清掃する際は、ピストンを傷つけないように注意してください。ピストンを鉄筋やハンマーでたたくと故障の原因となります。

油圧オイルの補充方法

- (1) ポンプレバーが動かないように固定します。
- (2) ねじ込み式となっていますので、レバーを左に回し、タンクケースより外します。



- (3) 本体を縦にし、十字ナベ小ネジを外して給油を行ってください。
この時、ゴムタンク内に空気が入らないように注意し、オイルは注油口いっぱいまで入れてください。
- (4) 十字ナベ小ネジを確実に締めつけ、レバーを取り付けてください。

・ 注 意

油圧オイルの補充は本体・油圧オイルの冷えた状態で行ってください。
オイル注入時には空気が入らないように注意してください。

カッターブロックについて

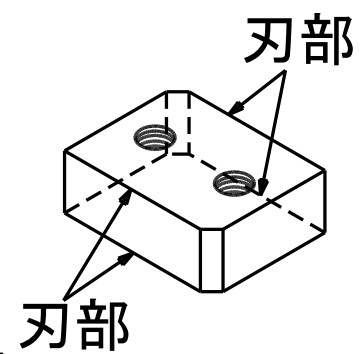
*カッターブロックの交換は、必ずポンプレバーを固定した状態で行ってください。

1. カッターブロックの寿命

カッターブロックは材料切断の繰り返しにより刃部が摩耗したり、変形・欠けなどが生じてきます。このまま、使い続けますと機体に損傷を与えるだけでなく、さらにカッターブロックの破片が飛散するなどの恐れがあり、危険です。

カッターブロックには右図に示すように刃部が4箇所あります。カッターブロックの取付け向きを替えることにより、4

回使用できます。材料を約2000本位切断しましたら摩耗・変形・欠けのない刃部を使用するようにカッターブロックの取付け向きを替えるか、または新しいカッターブロックと交換してください。



2. カッターブロックの交換方法

(1) 取り外し

付属の六角棒レンチでハウジングとピストンの六角穴付ボルトをゆるめて外し、カッターブロックを取り外します。

(2) 取り付け

- ①ハウジング周辺に付着しているゴミや汚れを布などで拭き取ります。
- ②本体側の取り付け穴に、カッターブロックのネジ穴を合わせ六角穴付ボルトで固定します。
- ③六角穴付ボルトを六角棒レンチで十分締め付けます。

ご修理の際は

IKK製品は、厳密な精度で製造されておりますが、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらずにお買い求めの販売店または下記記載の株式会社 IKK 本社もしくは各営業所などにお申しつけください。

十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので取扱説明書に記載されている以外の部品の取り付け・取り外しは行わないでください。

| | | |
|-------|------------------|----------------------|
| 札幌営業所 | 〒003-0012 | 北海道札幌市白石区中央二条 6-4-18 |
| | TEL 011-865-6331 | FAX 011-865-6332 |

| | | |
|-------|------------------|--------------------|
| 仙台営業所 | 〒984-0002 | 宮城県仙台市若林区卸町東 1-2-8 |
| | TEL 022-231-0170 | FAX 022-238-9181 |

| | | |
|-------|------------------|------------------|
| 東京営業所 | 〒110-0003 | 東京都台東区根岸 5-13-16 |
| | TEL 03-5824-3588 | FAX 03-5824-3580 |

| | | |
|-------|------------------|-----------------------|
| 横浜営業所 | 〒240-0002 | 神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町 1-3-1 |
| | TEL 045-340-2257 | FAX 045-340-2259 |

| | | |
|--------|------------------|----------------------|
| 名古屋営業所 | 〒454-0869 | 愛知県名古屋市中川区荒子 2-128-3 |
| | TEL 052-364-0385 | FAX 052-364-0386 |

| | | |
|-------|------------------|------------------|
| 金沢営業所 | 〒920-0363 | 石川県金沢市古府町南 297 |
| | TEL 076-269-2426 | FAX 076-269-2436 |

| | | |
|-------|------------------|------------------|
| 大阪営業所 | 〒578-0956 | 大阪府東大阪市横枕西 6-23 |
| | TEL 072-960-7707 | FAX 072-960-7708 |

| | | |
|-------|------------------|--------------------|
| 広島営業所 | 〒730-0844 | 広島県広島市中区舟入幸町 16-15 |
| | TEL 082-503-5900 | FAX 082-503-5901 |

| | | |
|-------|------------------|--------------------|
| 福岡営業所 | 〒816-0912 | 福岡県大野城市御笠川 4-11-24 |
| | TEL 092-504-3246 | FAX 092-504-3256 |



サンコーテクノグループ

株式会社 IKK

本社 / 〒410-0001 静岡県沼津市足高 396-59
TEL 055-922-8811 FAX 055-922-2880

下記ホームページにて弊社最新情報をお届けしております。

<http://www.diamond-ikk.com>